

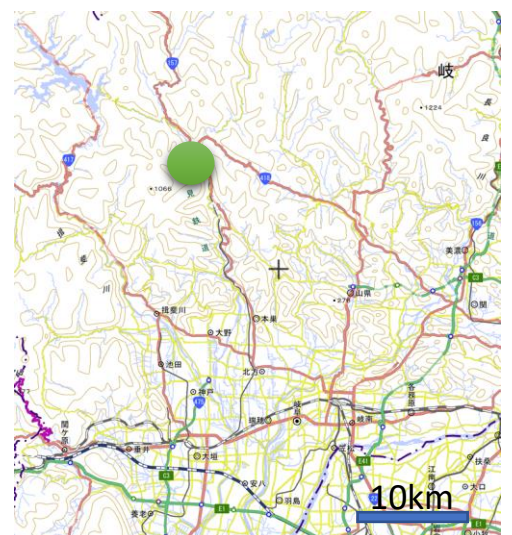
濃尾震災の紹介



濃尾地震の震源地に現れた、高さ6mの断層崖 (Milne and Burton(1893))

濃尾震災は、今から129年前の明治24年(1891)10月28日午前6時37分ころ、根尾谷（岐阜県本巣市）を震源地として発生した、マグニチュード8.0の巨大な内陸性直下型地震（濃尾地震）による災害です。

その被害地は、岐阜県・愛知県を中心に滋賀県・福井県など広い範囲におよび、家屋の倒壊や直後に発生した火災により、死傷者は約3万人にのぼりました。岐阜県内での死者は約5000人、被害額は判明した分だけでも5180万円という巨額でした（この前年度の岐阜県の決算額は約35万円）。岐阜市内でも4割近くの家屋が全焼し、死者は1000人をこえました。



地理院地図を使用

（濃尾震災記念堂ホームページの説明文に加筆）